



大正末期から昭和初期にかけての面影を残している山本亭



新八水路での生態調査



柴又ゆかりの映画の主人公を懐かしむ寅さん記念館

10 寅さんと矢切の渡しの「柴又公園」



DATA・BOARD 10

- ① 東京都葛飾区柴又6～7丁目
- ② 面積：51,670.09㎡
- ③ 京成電鉄金町線柴又駅から徒歩8分、JR常磐線金町駅またはJR総武線小岩駅からバスで帝釈天前下車・徒歩7分
- ④ 矢切の渡し、柴又帝釈天、柴又七福神



「柴又公園」は、大正時代のたまたまを残す山本亭や矢切の渡しのある江戸川河川敷を含む総合公園で、建設省のスーパースタディオンと合わせて進めることにより、一体的な公園として整備が行われた。

山本亭は、大正末期から昭和初期にかけての書院づくりの建物と敷地の寄贈を受けたことにより開設されたもので、建築当時の情緒ある建物内部や庭園がそのまま残されている。

江戸川河川敷は、緊急時の広域避難場所に指定されている場所で、芝生の広場となっている。この堤防に隣接する形で、観光文化センターが設置されており、センター内には防災倉庫や防災研修室が併設されている。堤防部分の小高い丘は柴又富士と名付けられ、その内部を利用して柴又ゆかりの映画の主人公である寅さん記念館が設置されている。また、自然環境への配慮も行われ、桜並木の復活や江戸川にそぐ新八水路の再生も進められ、水路では魚類や水生生物が戻ってきており、自主団体の調査活動も行われている。

江戸川、帝釈天、矢切の渡しなどの観光資源や寅さんに代表される下町人情などを取り込み、地元の協力を得ながら進められた整備事業となっている。